

# 高血圧を放っておいてはいけない理由

## ■ 生命に関わる合併症のリスクが上昇

高血圧があっても、多くの人は「すぐに治療しなければ」と、病院に駆け込むことはありません。その理由は明確です。これといった自覚症状が現れないからです。血圧が高いというだけで、どこかに痛みを感じたり、日常生活に支障が生じたりすることはありません。そのため、「血圧が高め」と気づいていても、深刻に受け止める人が少ないのです。

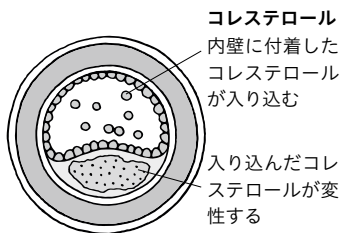
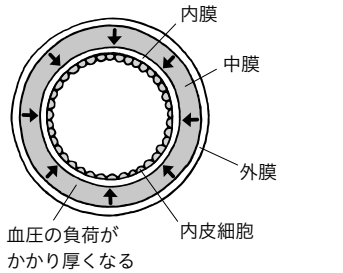
特に、女性の場合は、家族の健康には目配りしますが、自分の健康には無頓着な人が少なくありません。また、男性と比べて、定期的に健診を受ける機会が乏しく、自分の血圧を知らない人も多いのが現実です。しかし、高血圧を甘くみてはいけません

ん。高血圧は、場合によっては生命にも関わるような、さまざまな合併症を引き起こすおそれがあるからです。

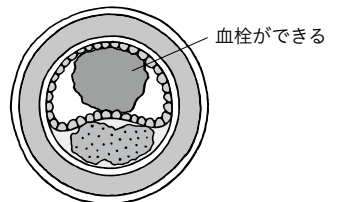
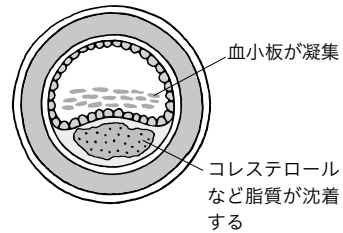
## ■ 血管内壁を傷つけ動脈硬化をまねく

高血圧によって引き起こされる障害の代表格としてあげられるのが動脈硬化です。血圧の高い状態が長年にわたって続くと、血管の内壁に強い圧力がかかり続けるため、血圧に耐えようとして厚みを増し、硬くなってしまいます。そうすると、伸び縮みする柔軟性や弾力性がどんどん失われていきます。この状態が「動脈硬化」です。

### 動脈硬化が起こるしくみ



血圧が高くなると血管内壁に負担がかかり、血管内壁が傷つきやすくなります。



血栓が血管に詰まりやすくなる

日本人間ドック健診協会『e人間ドック』をもとに改変